



2026年3月8日

DF会員の皆様へ

一般社団法人ディレクトフォース  
事務局長 矢島健児  
同好会支援担当 小林慎一郎  
歌舞伎同好会 代表世話役 神村安正

(ご案内)「文楽」を観たことありますか？  
—歌舞伎同好会から「文楽」観劇会へのお誘い—

歌舞伎同好会は、第57回観劇会を「文楽」観劇会として開催します。DF会員の皆様を紹介し、御参加を募ります。

「文楽」とは

「文楽」は人形浄瑠璃とも言います。元来は「文楽座の人形浄瑠璃」でしたが、現在では公益財団法人文楽協会によって提供される伝統的人形芝居です。三人遣いの人形という世界にまれな様式を誇っています。ユネスコ世界遺産に登録されました。

「文楽」は17世紀の前半に京都で語り物芸の「浄瑠璃」と操り人形芸に三味線が融合した芸能として発祥しました。同時代に萌芽した「歌舞伎」に大きな影響を与えました。

人形浄瑠璃の名作の多くが歌舞伎になりました。「曾根崎心中」「国姓爺合戦」「菅原伝授手習鑑」「義経千本桜」「仮名手本忠臣蔵」等は文楽、歌舞伎の共通の名作です。

歌舞伎同好会は年に一回文楽観劇会を持っています。この機会に文楽に触れて見られてはいかがでしょうか。

「文楽」観劇会の対象公演のご案内

演目：1. 通し狂言「生写朝顔話」 第一部  
2. 舞踊「二人禿」

日時：2026年5月23日(土) 11:00開演 14:10終演

劇場：「シアター1010 センジュ」 北千住駅西口 マルイビル11階

## 「生写朝顔話（しょううつしあさがおばなし）」のご紹介

天保3年（1832）初演の人形浄瑠璃です。元は文化年間に人気を博した講釈（講談）でした。元々はお家騒動物でしたが、挿話の深雪と宮城阿曾次郎の純愛物語が人気を呼び、お家騒動は捨象され、すれ違いのロマンスとして今日まで受け継がれてきました。

宇治の蛍狩りで宮城阿曾次郎と恋に落ちた秋月深雪は慌ただしく再会を約して別れます。残されたのは阿曾次郎が扇子に書き与えた朝顔の唱歌でした。その後二度のすれ違いで願いを果たせず、国に帰った深雪は、親から結婚を強いられます。相手は駒澤次郎左衛門、実は改名した阿曾次郎とは露知らず、絶望した深雪は家出します、艱難辛苦、盲目の門付け芸人までに身を落としながらも、恋人の姿を求めてさすらいます。果たして二人はめぐり会えるのか……。

時は流れて、天保3年から121年後の昭和27年4月、NHKラジオドラマ「君の名は」が始まり、銭湯の女湯をカラにしました。天保のすれ違い純愛物語が、昭和の真知子・春樹の純愛物語に蘇ったのです。以来「朝顔話」はすれ違いのラブロマンスの元祖に擬せられるようになりました。



**国立劇場 文楽**

**第一部**（午後1時開演）  
二人禿  
狂言 生写朝顔話  
宇治川蛍狩の段／真島が原茶店の段／  
岡崎隠れ家の段／明石浦船別れの段／  
弓之助屋敷の段

**第二部**（午後2時分開演）  
狂言 生写朝顔話  
粟栄りの段／浜松小屋の段／  
綿田宿笑い差の段／宿屋の段／  
大井川の段

**第三部**（午後6時分開演）  
《文楽名作入門》  
伊勢音頭恋寝刃  
古市油屋の段／奥庭十人斬りの段

国立劇場第233回文楽公演  
令和8年  
5月10日(日)～25日(月)  
※18日(月)は休演

シアター1010

主催：独立行政法人日本芸術文化振興会  
「生写朝顔話」 演出：浅草の心

